

宮崎空港ビル（株）に対し、 「DBJ BCM格付」に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、宮崎空港ビル株式会社（本社：宮崎県宮崎市、代表取締役社長：高屋靖夫、以下「当社」という。）に対し、「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、「宮崎ブーゲンビリア空港」のターミナルビルの管理・運営を担う事業者です。南海トラフ沖地震に伴う津波に備え、空港利用者のみならず周辺の地域住民の安全も見据えた防災体制の構築を通して地域防災の強化に貢献しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 平時から連結子会社を含むグループ全体で強固な防災体制を構築し、従業員に対しても、防災アンケートの実施や定期的な訓練・教育の実施を通じた防災への意識の啓発を行い、有事の際の取り組みの高度化に努めている点
- (2) 新たに「事業継続計画」を策定し、事業継続の目的・基本方針をはじめ、重要業務を明文化し、初動対応に必要な情報を整理するなど、文書化を通じ、災害時の対応体制を強化している点
- (3) 宮崎市との津波避難場所に関する協定の締結や周辺自治会との定期的な意見交換はもとより、地域住民への防災ハンドブックの配布や地域住民を交えた津波避難訓練の定期的な実施等により、地域防災力の向上に貢献している点

その結果、当社は「防災及び事業継続への取組が十分」という格付を取得しました。なお、本件は、当社にとって3度目の「DBJ BCM 格付」取得となります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

南九州支店 電話番号 099-226-2666